

# 東胆振定住自立圏

## 共生ビジョン

(令和7年度～令和11年度)



令和7年4月

北海道 苫小牧市



# 目 次

<b>1 定住自立圏共生ビジョンの策定に当たって</b>	
（1） 定住自立圏の概要とこれまでの取組	1
（2） 定住自立圏及び圏域を形成する市町	1
（3） 定住自立圏共生ビジョンの目的	2
（4） 定住自立圏共生ビジョンの期間	2
<b>2 圏域の概況</b>	
（1） 東胆振の概況	2
（2） 東胆振1市4町の概況	3
（3） 人口	5
<b>3 令和2年度から令和6年度までの検証</b>	7
<b>4 圏域の将来像</b>	9
<b>5 協定に基づき推進する具体的取組</b>	11

## 資料編

1 具体的な事業と内容	13
2 個別事業費一覧	34
3 定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員名簿	43
4 定住自立圏共生ビジョン懇談会 設置要綱	44

# 1 定住自立圏共生ビジョンの策定に当たって

## (1) 定住自立圏の概要とこれまでの取組

定住自立圏構想は、圏域の中心的な役割を担う中心市と近隣市町村が、それぞれの魅力をいかしながら、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する自治体間連携の取組です。

苫小牧市は、平成23年11月から、東胆振4町とともに「定住自立圏構想検討会」を設置し、定住自立圏構想の調査・研究を進め、東胆振全体での連携を目指すことを全市町で確認したことから、平成26年7月16日、圏域における中心的な役割を担う意思を表明する「中心市宣言」を行いました。

平成27年2月から3月にかけて、定住自立圏の形成に関する協定書を各市町の議会へ提案し、その議決を経て、平成27年3月24日に苫小牧市と4町との間で1対1の協定を締結し、定住自立圏を形成しました。現在は各町と21の協定を結んでいます。



平成27年3月24日  
定住自立圏形成協定締結式

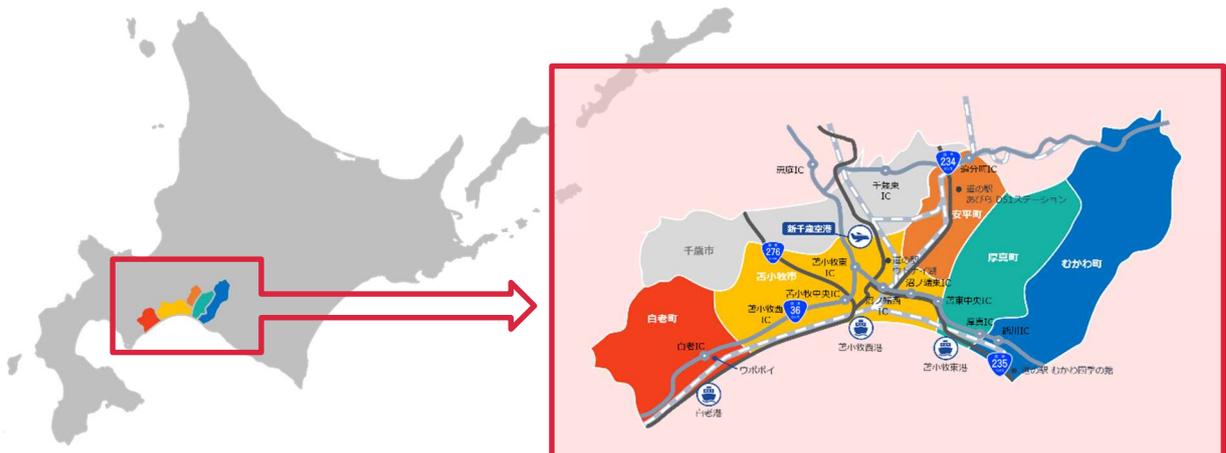
## (2) 定住自立圏及び圏域を形成する市町

### ・定住自立圏の名称

東胆振定住自立圏

### ・圏域を形成する市町

苫小牧市・白老町・厚真町・安平町・むかわ町



### (3) 定住自立圏共生ビジョンの目的

本共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知）第6の規定により、圏域の将来像や、定住自立圏形成協定に基づき関係市町村が連携して推進する具体的な取組内容を明らかにするものです。

### (4) 定住自立圏共生ビジョンの期間

本共生ビジョンの計画期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間とします。

## 2 圏域の概況

### (1) 東胆振の概況

東胆振は、北海道の中央南部の太平洋岸に位置し、東西約95km、南北約60km、面積約2,341km<sup>2</sup>で、北海道の総面積約83,422km<sup>2</sup>の約2.8%を占めています。

また、道路、鉄道の要衝のみならず、海路は国際拠点港湾苫小牧港を抱え、空路は新千歳空港を有するなど、道内の運輸・交通の中核的役割を担うとともに、豊かな自然と第一次から第三次に至る幅広い産業基盤を有しております。

地形は、変形扇状といえる地形をなし、北東部は日高山系、北西部は支笏火山系の山岳群にはさまれた石狩低地帯南部に勇払原野が広がり、南部は太平洋に面し、東部は広漠とした平原、北部はおおむね丘陵地を形づくっています。

気候は、全般的に臨海性で、一部には海霧の発生する地域や冷涼な地域を含みますが、積雪寒冷の厳しい北海道にあっては、比較的温暖で過ごしやすい地域の一つに数えられています。道内の他地域と比較して、春の訪れは早く、安定した天候の長い秋が続いた後、積雪量の少ない冬が遅く来るなど恵まれた気象条件にあります。

東胆振の総人口は、205,748人（国勢調査：令和2年10月1日）であり、全道人口(5,224,614人)の3.9%を占めています。苫小牧市が170,113人と圏域人口の82.7%を占め、その割合は増加傾向にあります。1km<sup>2</sup>あたりの人口密度は87.9人となっており、全道の62.6人と比べ高くなっています。

## (2) 東胆振1市4町の概況

〔出典〕

人口は令和2年国勢調査（R2.10.1時点）

面積は令和6年全国都道府県市区町村別面積調(R6.4.1時点)



### 苫小牧市

・人口170,113人 ・面積561.66km<sup>2</sup>



樽前山

苫小牧市は、国際拠点港湾苫小牧港と新千歳空港を有し、鉄道、国道、高速自動車道などの交通アクセスにも恵まれた、北海道を代表する物流の拠点として、産業・経済の発展に大きな役割を果たしています。

また、紙・パルプ、自動車部品、金属などの工業基地、石油備蓄基地や道内唯一の油ガス田を抱えるエネルギー基地、次代を担うリサイクル産業基地として注目を集めています。一方で、ラムサール条約登録湿地のウトナイ湖や溶岩円頂丘を持つ樽前山など、自然豊かな環境を備えています。このよ

うな自然環境を後世に残すべく、地球温暖化対策の一つとして、CCS大規模実証実験（CO<sub>2</sub>の分離・回収、圧入、貯留、モニタリング）に着手するなど全国に先駆けて脱炭素化に取り組んでおり、令和3年にはゼロカーボンシティ宣言を行うなど、産業界を含め、まちをあげてその取組を強化しているところです。

この豊かな自然と調和した、文化の薫り高く潤いのある快適な生活環境の中で、未来に向かって挑戦し続けるまち「人間環境都市」を目指してまちづくりを推進しています。



### 白老町

・人口16,212人 ・面積425.63km<sup>2</sup>



アイヌ古式舞踊

白老町は、胆振管内のほぼ中央に位置し、南は青く壮大な太平洋、北は支笏洞爺国立公園の一角を形成する雄大な山々に抱かれ、面積の約75%を森林が占める自然豊かなまちです。穏やかな海洋性気候で、一年を通じて比較的温暖な気候に恵まれており、また冬の年間最深積雪量は平均20cm前後と道内で最も降雪が少ない地域です。

道内で初めて導入された黒毛和種肉牛「白老牛」や地元産の原料にこだわった「虎杖浜たらこ」、道内トップク

ラスの生産量を誇る「しいたけ」や「鶏卵」などの特産品に恵まれ、競走馬の生産地としても知られています。

令和2年7月にアイヌ文化の復興・創造・発展させる拠点、及び将来に向けて先住民族の尊厳を尊重し、差別のない多様で豊かな文化をもつ活力ある社会を築いていくための象徴として民族共生象徴空間（ウポポイ）が開業し、多文化共生の理念のもと共生・共創のまちづくりを推進しています。



## 厚真町

・人口 4,432 人 ・面積 405.38 km<sup>2</sup>



実るハスカップ

厚真町は、道央圏の胆振管内東部にある町で、夕張市との境界を源流とする約50kmの厚真川が南北に貫流し、古くから稲作を中心に農業を基幹産業として発展してきました。近年は、栽培面積日本一を誇るハスカップの全国展開に向け、町をあげてブランド化に取り組んでいます。

町域には国際拠点港湾の苫小牧港東港区が位置し、北海道電力苫東厚真発電所、苫東コールセンター、国家・民間の石油備蓄基地等、物流拠点・エネルギー拠点が立地し、さらにフェリー、高規格幹線道路日高自動車道厚真IC、近接する新千歳空港等、陸・海・空の交通アクセスが充実し、今後も大きな発展が期待できる立地環境を有しています。

現在は、子育て・教育環境の充実に向けた取組や、厚真町が持つ地の利や豊かな自然環境をいかしたまち・ひとづくり支援により、町内各地で新しい飲食店がオープンするなど「快適で魅力ある新しいまち」へと生まれ変わりつつあります。



## 安平町

・人口7,340人 ・面積237.16km<sup>2</sup>



菜の花畑

安平町は、酪農業や軽種馬産業をはじめとした第一次産業を基幹産業とした町です。アサヒメロンや畜産加工品であるカマンベールチーズなどが有名であるほか、競走馬の産地として、町内の牧場から多くの重賞勝馬を輩出しています。近年では、『菜の花』を活用した商品開発や観光振興が行われており、初夏には広大な面積に黄色い菜の花が咲き誇り、圧巻の景色です。

現在は、令和5年の義務教育学校開校をはじめとして、子育て支援や教育環境の充実、子育て世代の定住促進を進めているほか、子どもの社会参画にも取り組むなど、子どもにやさしいまちづくりを推進しています。

さらには、ゼロカーボンシティ宣言に基づく環境・再生可能エネルギーに関する取組のほか、スマートワークや起業家カレッジ事業、サテライトオフィス事業をはじめとした企業誘致・事業誘致の新たな取組を推進しています。



# むかわ町

・人口7,651人 ・面積711.36km<sup>2</sup>



むかわ町は、道央圏の南方に位置し、札幌市や空の玄関である新千歳空港、海の玄関である苫小牧港にも近く、また、日高・十勝方面への交通の要衝にあります。胆振管内で最も大きい面積を有し、東・北部は日高山脈系の外縁部に囲まれ、西部は勇払原野、南部は太平洋に面し、全国でも屈指の清流度を誇る一級河川「鷓川」が南北に縦走しています。

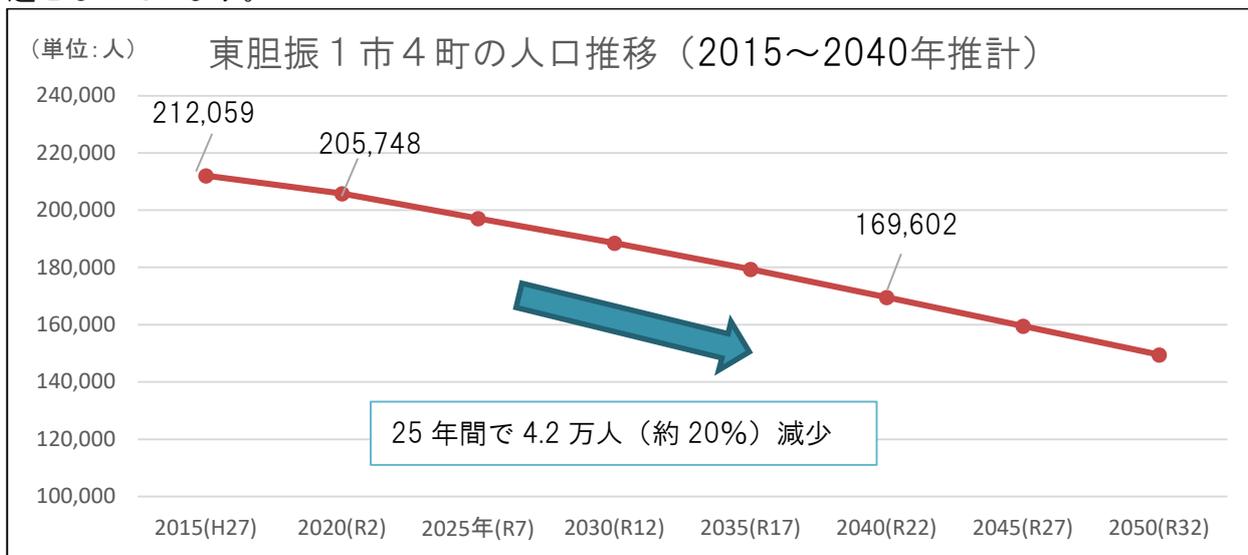
この豊かな自然環境が作り出す地域ブランド「鷓川ししやも」「ほべつメロン」をはじめとする、品質の高い食材がたくさんあり、自然や食をいかしたイベントも四季折々で開催されます。

一方、まちづくりにおいては、北海道胆振東部地震からの創造的復興・創生を目指すこととして策定した「むかわ町復興計画」において、いよいよ復興・創生期のステージに移ります。その取組の中で最重要課題としている「まちなか再生プロジェクト」が本格的に動き出しており、穂別地区では博物館を中心とした「復興拠点施設等整備事業Ⅰ」、鷓川地区では道の駅むかわ四季の館を中心とした「復興拠点施設等整備事業Ⅱ」に取り組み、震災からの創造的復興・創生に向けて一歩ずつ前へ歩みを進めています。

## (3) 人口

### ア 人口の推移

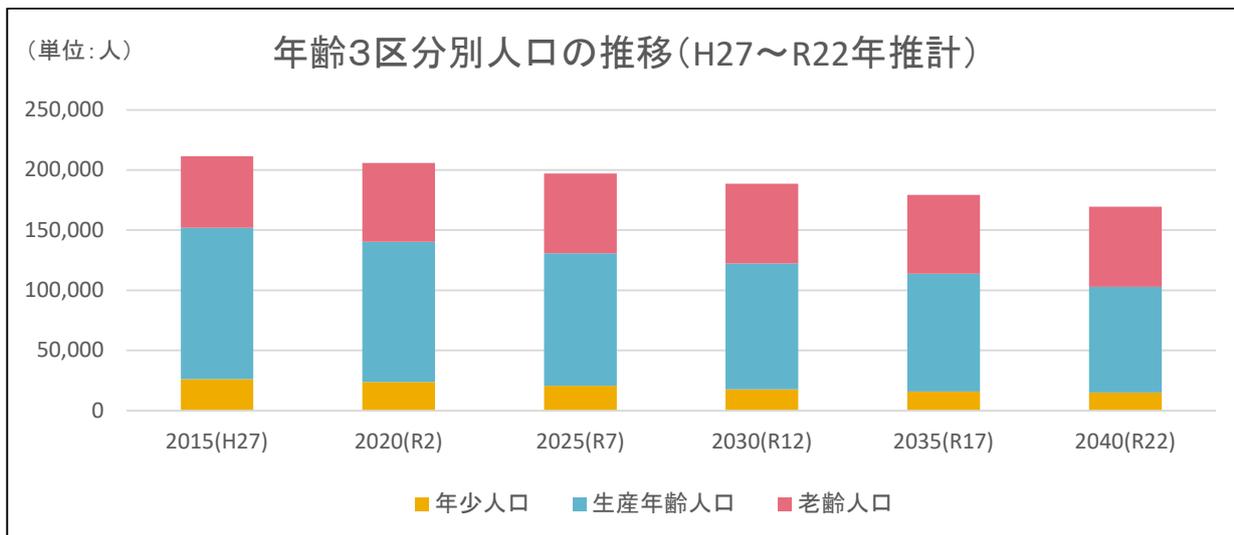
令和2年10月1日時点の東胆振の総人口は205,748人で、ビジョンを策定した平成27年の212,059人と比べ3% (6,311人) 減少しています。また、国立社会保障・人口問題研究所が発表した「日本の地域別将来人口推計(R5.4)」によれば、25年間(平成27年～令和22年)の間に約4.2万人の減少が見込まれるなど、人口減少による地域コミュニティの維持や地域経済の衰退が大きな課題となっています。



資料 国勢調査(H27、R2)  
国立社会保障・人口問題研究所(R5)「日本の地域別将来人口推計」

### イ 年齢3区分別人口

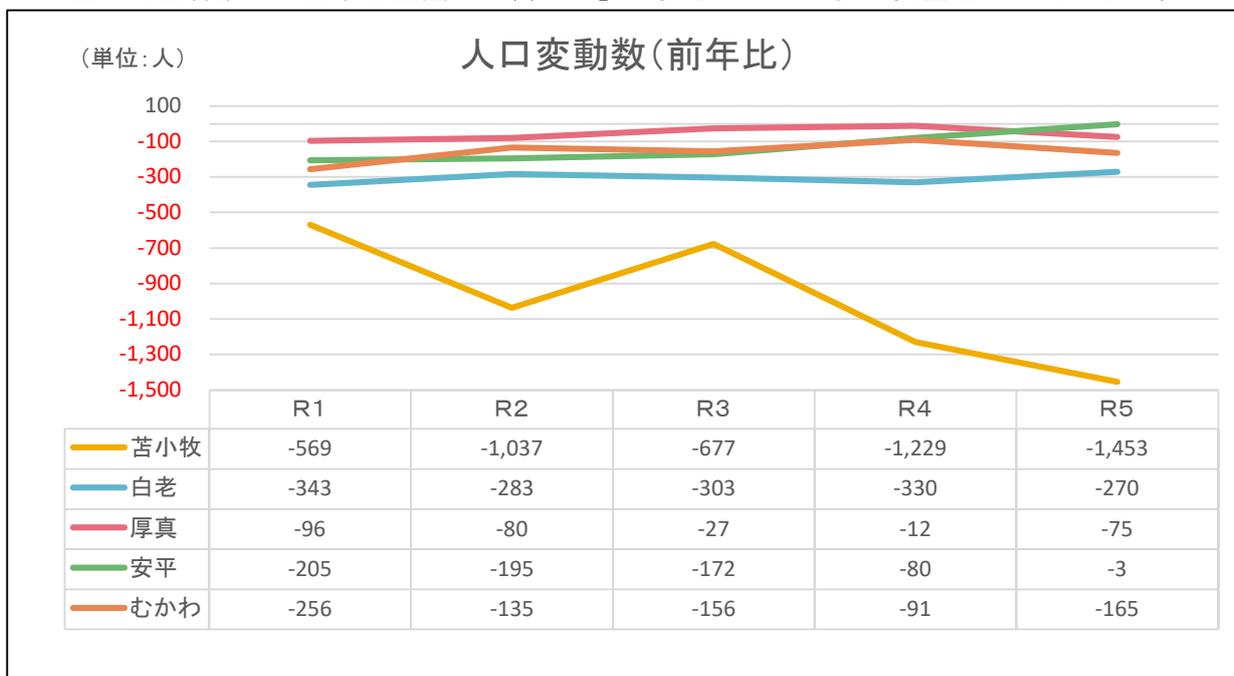
東胆振の年齢3区分別人口構成比は、平成17年以降、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）が一貫して減少しているのに対し、老年人口（65歳～）は増加を続け、平成27年時点で、年少人口12.4%（26,142人）、生産年齢人口59.6%（126,368人）、老年人口28.1%（59,549人）となっています。令和22年の推計では、年少人口8.8%（14,960人）、生産年齢人口51.8%（87,796人）、老年人口39.4%（66,846人）とより一層、少子高齢化に進むことが予想されています。



資料：国勢調査(H27、R2) 国立社会保障・人口問題研究所(R5)「日本の地域別将来人口推計」

### ウ 共生ビジョン策定後の人口変動

東胆振定住自立圏共生ビジョン策定後も圏域における人口の減少傾向は続いています。いずれの自治体においても、転入者数が転出者数を上回る「社会増」となっている年もありますが、それ以上に死亡者数が出生数を上回る「自然減」の多さが人口減少の要因となっています。



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査（R1、R2、R3、R4、R5）

※人口算出時点は各年の12月末時点

### 3 令和2年度から令和6年度までの検証

令和2年度から令和6年度は新型コロナウイルスの大流行により、経済活動が停滞しました。令和5年5月には新型コロナウイルスが5類へと移行し、これまでの生活を取り戻しましたが、長期間にわたって苦しい状況が続きました。

一方、新型コロナウイルスの流行により、デジタル技術の活用が加速度的に発展し、より豊かになった一面も持ち合わせており、テレワークやリモートワークなどの働き方、教育場面におけるデジタル化が一般的になりました。

【各分野における重要業績評価指数（KPI）の進捗状況】

No.	事業内容	指標	令和5年度 達成状況	目標値 (令和6年)
1	地域医療連携システム 整備事業	登録医療機関数	22 か所	33 か所
2	初期救急医療・広域医 療体制の充実	夜間・土曜・休日に対応 可能な二次救急の輪番制 医療機関数	2 医療機関	2 医療機関
3	SOSネットワーク事 業	事業の周知回数	54 回	92 回
4	障がい者等の地域生活 支援拠点事業	相談件数	11,276 件	17,000 件
5	在宅医療・介護連携推 進事業	相談窓口の設置数	5 件	5 件
6	成年後見制度の支援体 制の充実	相談件数	238 件	140 件
7	生涯学習機会の充実	生涯学習関連講座開設数	674 講座	813 講座
8	図書館（室）の相互連 携の強化	4 町在住者への延べ貸出 人数（苫小牧市中央図書 館）	2,348 人/年	2,145 人/年
9	・地場製品のPRや産業振興 に関する連携 ・東胆振地域ブランド創造協 議会	地域ブランドの合同PR 回数	4 回/年	4 回/年
10	鳥獣被害防止対策事業	情報交換回数	3 回	5 回
11	防災体制の充実	圏域内研修及び訓練回数	29 回（累計）	25 回（累計）
12	循環型社会の構築	家庭ごみの排出量	41,211t	39,818t
13	生活バス路線の維持・ 確保	地域間幹線系統数（自治 体間運行バス）	5 系統	5 系統
14	期成会活動の促進	国への合同要望回数	3 回/年	3 回/年
15	地産地消の推進	個別事業の売上金額	743 万円	1,281 万円
16	移住関連情報の一体的 な発信	合同情報発信数	25 回	25 回
17	広報連携による情報共 有や情報発信	インターネットを活用し た一体的な情報発信媒体 数	32 回	30 回
18	自治体クラウドの導入	共同する業務システム数	33	45
19	職員研修に係る情報共 有および合同研修の実 施	合同研修開催回数	7 回	10 回

全19項目のうち、令和5年度末時点で10項目が達成、9項目が未達成となっています。主な要因としては、KPIとして設定していた「家庭ごみ排出量の減少」や、「生涯学習関連講座開設数の増加」など多くの項目において、コロナ禍によって家庭で過ごす時間が多くなったことが要因となっています。

本圏域の取組は5か年で完結するものではなく、継続して取り組むことが必要とされています。次期5か年の共生ビジョンにおいても、長期的な視点に立ち、圏域の人口減少抑制に向けて各種事業を粘り強く取り組むことにより、目指す将来像に近づけるものと捉えています。

## 4 圏域の将来像

近年の人口減少の加速化は当圏域においても大きな課題であり、将来的に単独の自治体での住民サービスの維持が困難となることが予見されていることから、住民サービスの維持を図るためには、人口減少対策やデジタル技術の活用による効率化や適正化が必要となります。

当圏域（東胆振1市4町）は、昭和47年の広域市町村圏の指定を受けて以降、多くの広域連携事業に取り組んできましたが、平成27年に「東胆振定住自立圏」を形成し、中心市と連携町がそれぞれの持つ個性を尊重しながら、相互に連携・協力し、圏域全体で生活に必要な機能の充実に向けて取り組んでいます。

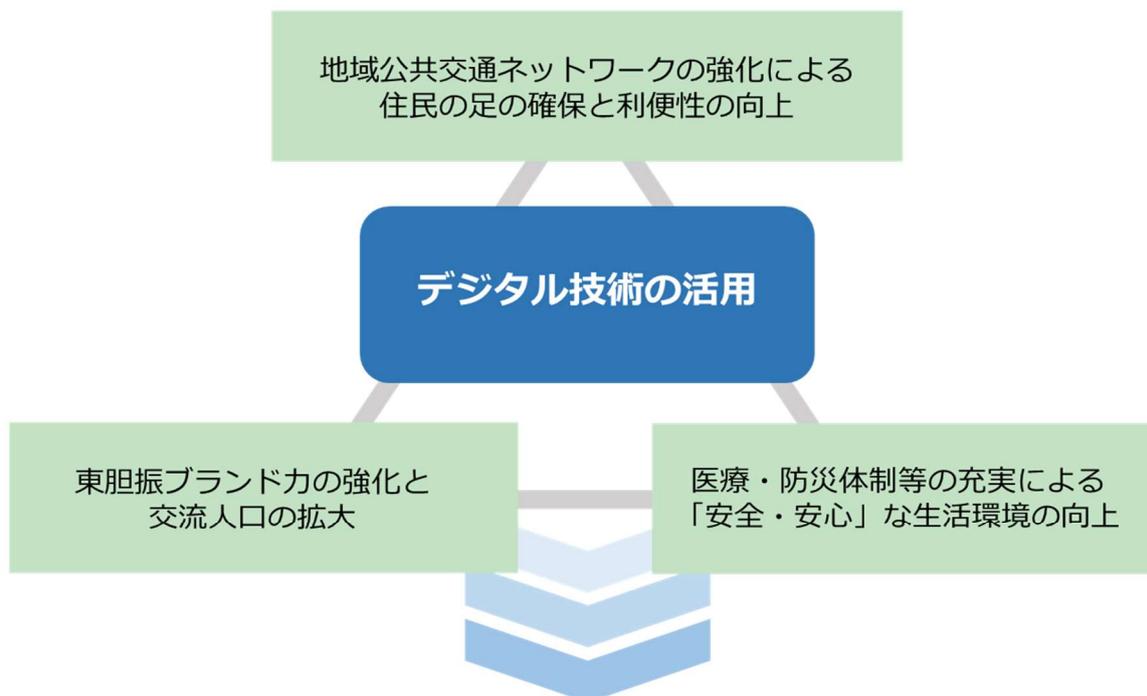
東胆振は、陸・海・空の良好な交通アクセスを有し、札幌圏に隣接しているといった地理的優位性を兼ね備えた地域であり、新鮮な農産品・水産品が豊富で、アイヌ文化の理解と復興の拠点となる「民族共生象徴空間（愛称：ウポポイ）」や国内最大の恐竜全身骨格化石「カムイサウルス・ジャポニクス（通称 むかわ竜（むかわ町穂別産）」、日本遺産に指定された「炭鉄港」の構成文化財である「蒸気機関車D51 320号機」などの貴重な文化資源、さらにはサラブレッドを目にすることができる牧場などの観光資源のほか、国際リゾートの誘致を目指すなど幅広い地域資源を有しています。

産業分野においては、近接市において次世代半導体企業の工場建設が始まり、圏域内でも大手通信企業のデータセンター建設が決定するなど、新たな分野でのポシビリティも有しています。

さらに、圏域内の各市町において、それぞれの特色をいかしたゼロカーボンへの取組を進めており、環境分野においても高いポテンシャルを有しています。

こうした潜在する資源をいかした様々な地域の取組にデジタル技術を活用することでエリアブライドの向上や交流人口の拡大を図るとともに、平成30年北海道胆振東部地震からの復旧・復興及び防災連携体制の強化、医療・地域公共交通の充実、生活・雇用情報及び移住・定住関連情報の提供なども含め、必要な生活機能を確保し、将来にわたって必要な人口を確保した上で、圏域住民が安心して暮らし続けることができる圏域を目指します。

## 東胆振圏域が目指す将来像



## 魅力あるポテンシャルをいかし、安心して暮らし続けられる圏域

### 【圏域人口目標】

2020(R2)年 (実績)	2040(R22)年 (社人研推計)	➡	2040(R22)年 (目標)
205,748人	169,602人		175,835人

### 【老年人口目標（高齢化率）】

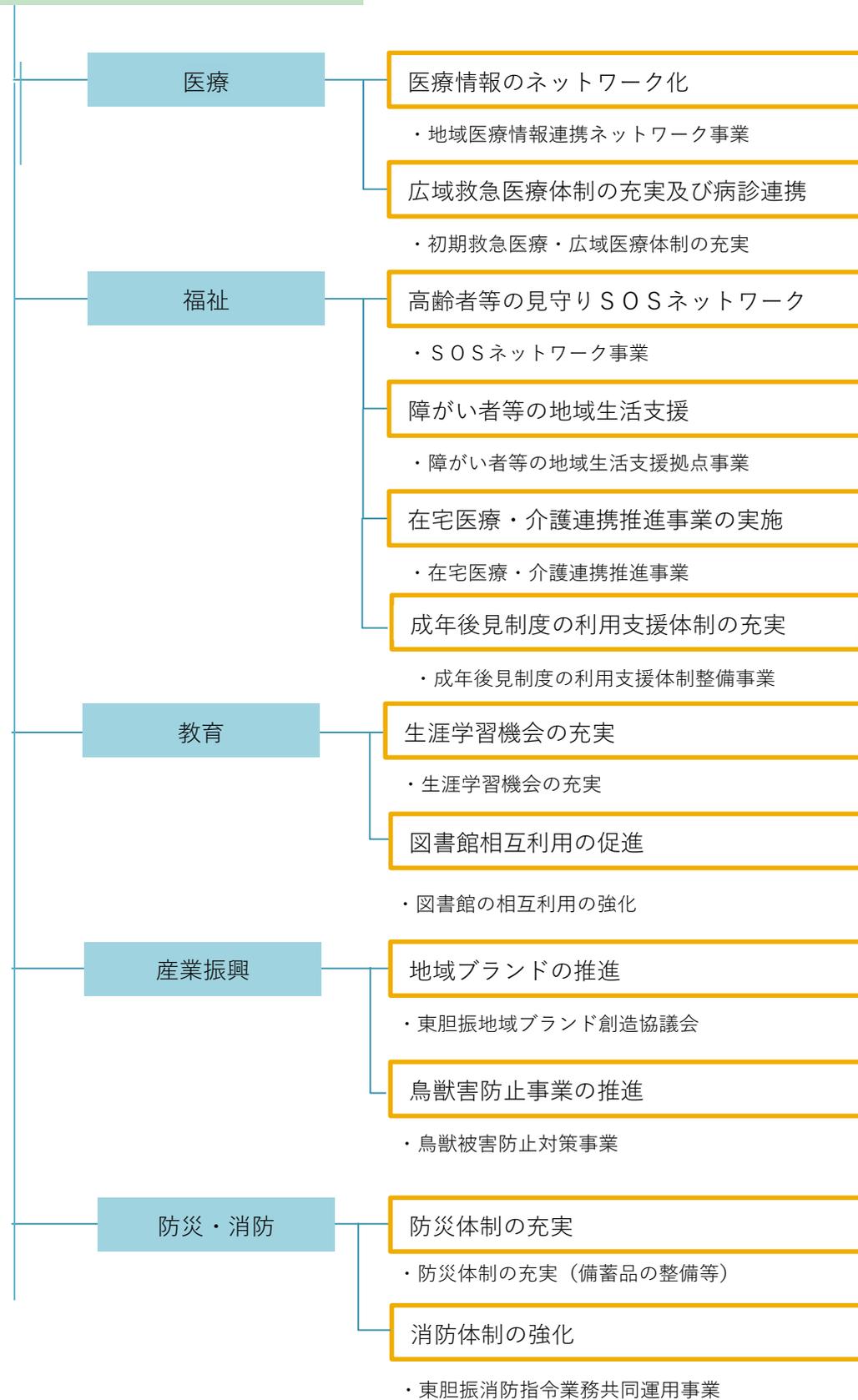
2020(R2)年 (実績)	2040(R22)年 (社人研推計)	➡	2040(R22)年 (目標)
31.8%	39.4%		37.4%

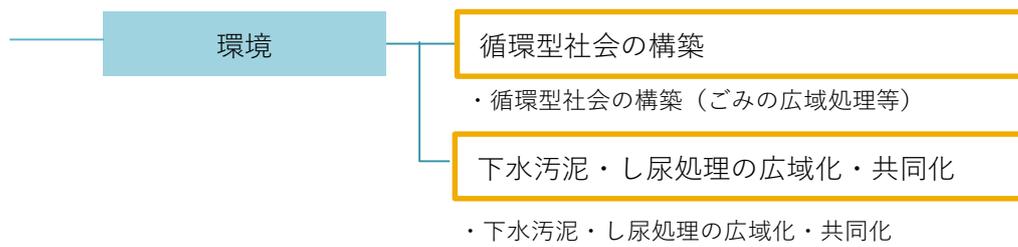
資料：国勢調査(R2)

国立社会保障・人口問題研究所(R5)「日本の地域別将来人口推計」、構成市町人口ビジョン

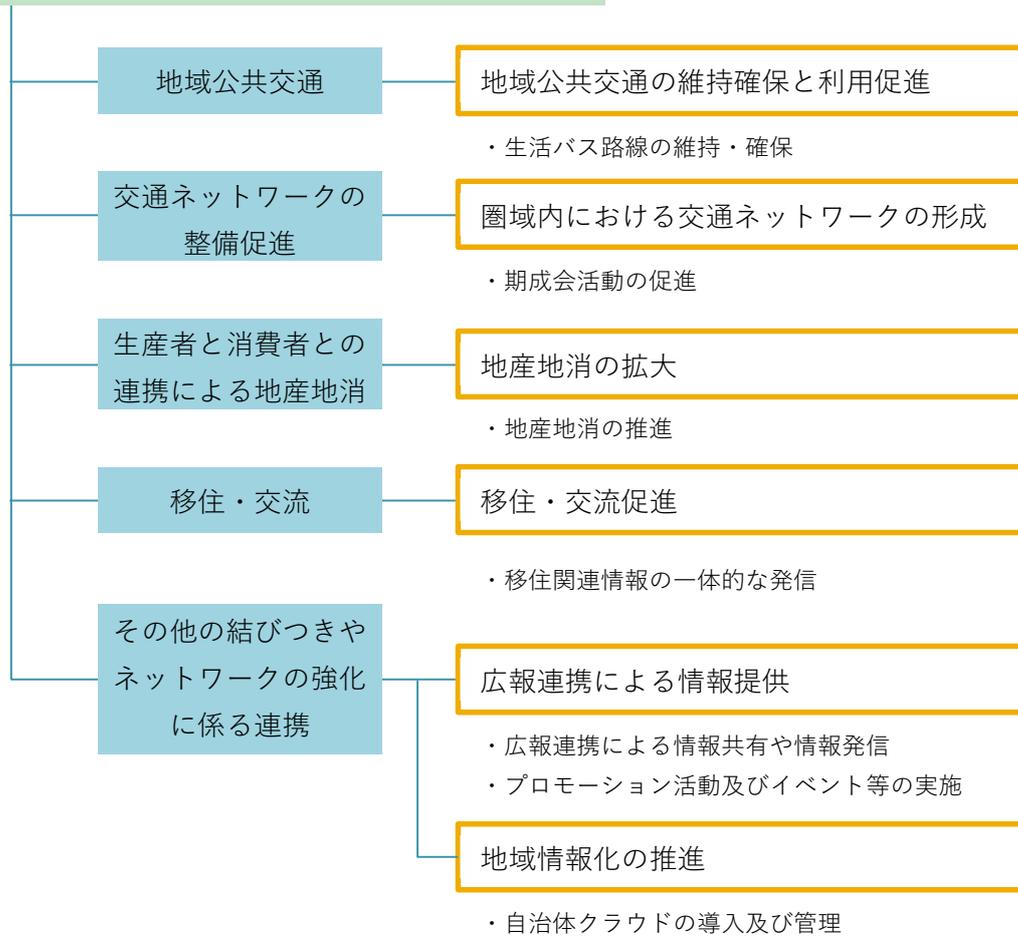
## 5 協定に基づき推進する具体的取組

### 生活機能の強化に係る政策分野

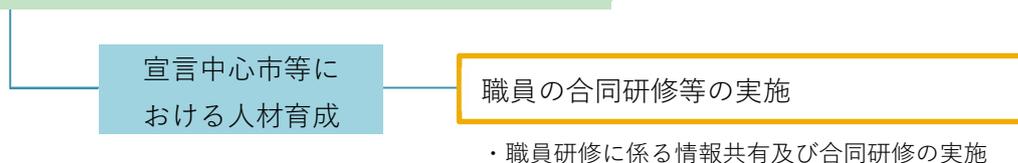




結びつきやネットワークの強化に係る政策分野



圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野



資料編 1 具体的な事業と内容

I 生活機能の強化に係る政策分野

ア 医療

① 医療情報のネットワーク化

協定の内容	(取組の内容) 圏域内における診療情報を医療機関間で共有し、圏域の医療体制の充実を図る。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域内における地域医療連携のため中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域内における地域医療連携のための各種事業に取り組む。

事業名	地域医療情報連携ネットワーク事業					関係市町
事業概要	ネットワークの発展的更新を目指し、本市DX構想に基づく新たなネットワーク網を構築し、緊密な連携による地域医療の堅持と効率化を図る。					全市町
効果	診療情報を共有することにより、圏域内の住民に対する、よりきめ細やかな支援が可能となる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	5,000	200,000	5,000	5,000	5,000	220,000
補助事業等の名称等	新しい地方経済・生活環境創生交付金					
役割分担の考え方	苫小牧市がシステム導入に必要な関係機関などの調整や交付金申請を行う。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年度)	
	登録医療機関数		22か所 (令和5年)		40か所 (令和11年)	

② 広域救急医療体制の充実及び病診連携

協定の 内容	(取組の内容) 圏域内における初期救急医療機能や広域医療体制の維持・充実に努める。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域内における初期救急医療機能や広域救急医療体制の充実のため中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域内における初期救急医療機能や広域救急医療体制の充実に向けて取り組む。

事業名	初期救急医療・広域医療体制の充実					関係市町
事業概要	休日又は夜間における救急医療体制を確保し、広域救急医療及び小児救急医療を維持する。また、住民に対する救急医療知識の普及啓発を図る。					全市町
効果	圏域内の初期救急医療体制や広域救急医療体制の維持・確保が図られるほか、救急医療の啓発により、地域医療の救急体制についての認識が生まれ、適正な救急車の利用や受療行動が期待される。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	266,045	266,045	266,045	266,045	266,045	1,330,225
補助事業等の 名称等	小児救急医療支援事業費補助金					
役割分担の 考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	夜間・土曜・休日 に対応可能な二次 救急の輪番制医療 機関数	2 医療機関 (令和5年)		2 医療機関 (令和11年)		

イ 福祉

① 高齢者等の見守りSOSネットワーク

協定の内容	(取組の内容) 圏域内の関係機関のネットワークを活用し、高齢者等の行方不明者の速やかな保護に繋げる。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、見守りSOSネットワーク事業を推進するなど、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに取り組む。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、見守りSOSネットワーク事業を推進するなど、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに取り組む。

事業名	SOSネットワーク事業					関係市町
事業概要	徘徊等により所在不明となった高齢者等の搜索と保護を行うとともに、本人及び家族等への支援並びに再発防止のための連絡・調整を行う。					全市町
効果	高齢者の行方不明時に、警察だけでなく地域の協力団体等が搜索に協力し、速やかな行方不明者の保護に繋がる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	411,093	411,093	411,093	411,093	411,093	2,055,465
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)	
	登録件数 (情報発信先)		1,466件 (令和5年)		1,580件 (令和11年)	

② 障がい者等の地域生活支援

協定の 内容	(取組の内容) 障がい者等の地域生活支援の機能を強化するため、地域生活支援拠点を整備・運営する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙から委託を受けて地域生活支援拠点を整備・運営するとともに、乙がその実施状況を把握し、適切な評価を行うことができるよう情報の提供を行う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲に地域生活支援拠点の整備・運営を委託するとともに、その実施状況を把握し、評価を行う。

事業名	障がい者等の地域生活支援拠点事業					関係市町
事業概要	障がい者等の地域生活支援の機能を強化するため、地域生活支援拠点を整備・運営する。					全市町
効果	圏域内における社会的資源を共有することで、障がい者等が必要とする情報や安定したサービスの提供が図られる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	10,006	10,006	10,006	10,006	10,006	50,030
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	相談件数	2,216件 (令和5年)		2,700件 (令和11年)		

③ 在宅医療・介護連携推進事業

協定の内容	(取組の内容) 住み慣れた地域での生活を支えるため、地域の医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的なサービス提供体制を構築・強化することを支援する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域内における在宅医療・介護連携のため中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域内における在宅医療・介護連携のための各種事業に取り組む。

事業名	在宅医療・介護連携推進事業					関係市町
事業概要	地域の医療・介護関係者等から相談等を受け、連携調整等による支援を行う窓口の設置・運営及び圏域内の相談窓口間の連携体制を構築する。					全市町
効果	圏域内の医療・介護機関等からの連携に対する相談窓口を設置することで、医療・介護関係者等が必要とする多職種間の有機的連携が図られる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	40,983	40,983	40,983	40,983	40,983	204,915
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	相談窓口の設置数	5か所 (令和5年)		5か所 (令和11年)		

④ 成年後見制度の利用支援体制の充実

協定の内容	(取組の内容) 圏域内の高齢者、障がい者等の生活の安定に資するため、成年後見制度の利用に係る総合的な支援機関を設置し、制度の利用支援体制の整備・充実を図る。
	(甲の役割・苫小牧市) 成年後見制度の利用に係る総合的な支援機関を運営するとともに、乙や関係機関と連携し、成年後見制度の普及など高齢者や障がい者等が安心して暮らせる地域づくりに取り組む。
	(乙の役割・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、成年後見制度の普及など高齢者や障がい者等が安心して暮らせる地域づくりに取り組む。

事業名	成年後見制度の利用支援体制整備事業					関係市町
事業概要	圏域内の高齢者、障がい者等の生活の安定に資するため、成年後見制度の利用に係る総合的な支援機関を設置し、制度の利用支援体制の整備・充実を図る。					厚真町・安平町・むかわ町
効果	成年後見制度の利用支援体制を構築することで、認知症や障がい等により判断能力の不十分な方が安心して生活できる環境整備が図られる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	31,801	31,801	31,801	31,801	31,801	159,005
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	相談件数	238件 (令和5年)		250件 (令和11年)		

ウ 教育

① 生涯学習機会の充実

協定の内容	(取組の内容) 圏域住民の生涯学習を推進するため、生涯学習機会の充実を図る。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、各圏域の生涯学習施設に関する情報共有を行い、住民への周知に努めるなど、生涯学習機会の充実に取り組む。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、各圏域の生涯学習施設に関する情報共有を行い、住民への周知に努めるなど、生涯学習機会の充実に取り組む。

事業名	生涯学習機会の充実、圏域内文化の共有					関係市町
事業概要	圏域市町が持つ生涯学習施設等の効率的な利用を促進するため、公の施設の適正な維持管理・運営事業を行い、生涯学習機会の充実を図る。					全市町
効果	公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会の充実が図られる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	233,060	236,198	236,244	236,982	235,411	1,177,895
補助事業等の名称等	過疎地域持続的発展支援交付金など					
役割分担の考え方	施設の維持管理・運営事業については、各自治体が行う。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	生涯学習関連 講座開設数	674講座 (令和5年)		765講座 (令和11年)		

② 図書館相互利用の促進

協定の内容	(取組の内容) 図書館(室)の広域利用を促進するため、図書館(室)相互の連携を強化する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、圏域住民の図書館利用を促進するとともに、図書の充実や蔵書情報の提供など中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、圏域住民の図書館(室)利用を促進するとともに、図書の充実や蔵書情報の提供に努める。

事業名	図書館(室)の相互連携の強化					関係市町
事業概要	図書館(室)の広域利用を促進するとともに、図書館(室)におけるデジタル図書を含めた図書資料の充実や環境を整備し、図書サービスの充実・向上を図る。					全市町
効果	他市町村との図書館広域利用が可能となり、図書館利用に係る住民の利便性が向上するとともに、行政コストの低減が図られる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	14,068	14,208	14,068	14,068	14,068	70,480
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)		目標値(達成年度)		
	4町在住者への延べ貸出人数(苫小牧市中央図書館)	2,348人 (令和5年)		2,410人 (令和11年)		

エ 産業振興

① 地域ブランドの推進

協定の 内容	(取組の内容) 様々な地域資源を活用し、地域全体の活性化を図り、地域ブランドを推進する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、地域ブランドの創出・発信を行うため中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、地域ブランドの創出・発信を行う。

事業名	東胆振地域ブランド創造協議会					関係市町
事業概要	東胆振地域ブランド推進計画に基づく施策を促進し、観光振興を通じて東胆振全体の活性化に資する。					全市町
効果	地域全体のブランド力を創出・発信することにより、苫小牧市から各町への回遊性の向上、さらには札幌圏などの大都市圏から当該地域へ入り込む交流人口の拡大に繋がる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	東胆振ブランド創造協議会SNSフォロワー	5,500人 (令和5年)	20,000人 (令和11年)

② 鳥獣害防止事業の推進

協定の内容	(取組の内容) 鳥獣による農業被害の軽減に向け、鳥獣害防止事業を推進する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域全体の被害の軽減を図る。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域全体の被害の軽減を図る。

事業名	鳥獣被害防止対策事業					関係市町
事業概要	鳥獣による農林業への被害防止を図るため、鳥獣被害防止対策を推進する。					全市町
効果	有害鳥獣による被害状況や被害防止対策等に係る情報共有などの連携によって未然防止が期待される。さらに圏域の基幹産業である農林業に対する被害防止が図られる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	69,806	69,926	69,866	70,166	70,286	350,050
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	情報交換回数	3回 (令和5年)		5回 (令和11年)		

オ 防災・消防

① 防災体制の充実

協定の 内容	(取組の内容) 災害時の応援体制の構築を進めるとともに、自主防災組織の育成など、防災体制の充実を図る。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、災害時における相互応援体制の検討を進めるとともに、自主防災組織の育成など、防災体制の充実に向けて、中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、災害時における相互応援体制の検討を進めるとともに、自主防災組織の育成など、防災体制の充実に取り組む。

事業名	防災体制の充実					関係市町
事業概要	災害に備え、各市町村における防災体制の充実を図るとともに、災害時広域相互応援に関する協定に基づき災害備蓄品の提供など相互応援を行う。 復旧・復興へ向けた職員の派遣などの支援を行う。					全市町
効果	市町単独では対応できない大規模災害に対して、相互応援により、被害を最小限に食い止めることができるなど圏域全体の防災力の向上が図られる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	22,654	20,090	19,497	19,519	19,519	101,279
補助事業等の 名称等	地域づくり総合交付金					
役割分担の 考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	自治体主催による防災訓練、防災イベント、防災会議の開催回数	12回/年 (令和5年)		30回(累計) (令和11年)		

② 消防体制の強化

協定の内容	(取組の内容) 圏域内の消防指令業務の共同運用を行い、消防体制の強化を図る。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙を構成団体とする胆振東部消防組合から消防指令業務を受託し、圏域内の消防指令業務の共同運用に向けて、中心的な役割を果たす。 (厚真町・安平町・むかわ町)
	(甲の役割・苫小牧市) 乙から消防指令業務を受託し、圏域内の消防指令業務の共同運用に向けて、中心的な役割を果たす。 (白老町)
	(乙の役割・厚真町・安平町・むかわ町) 乙を構成団体とする胆振東部消防組合を介して、圏域内の消防指令業務の共同運用の円滑な実施に必要な協力を行う。 (乙の役割・白老町) 圏域内の消防指令業務の共同運用の円滑な実施に必要な協力を行う。

事業名	東胆振消防指令業務共同運用事業					関係市町
事業概要	東胆振1市4町における消防体制の維持・強化のため、共同指令センターを構築し、消防指令業務の共同運用を実施する。					全市町
効果	消防指令業務の連携・協力により、災害情報を一元化することで、消防相互応援協定に基づく応援体制の強化及び行財政面での効果を実現し、管轄内の住民サービスの向上が図られる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	1,169,705	-	-	-	-	1,169,705
補助事業等の名称等	緊急防災・減災事業債					
役割分担の考え方	苫小牧市が消防指令業務の事務を受託し、各町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	消防指令業務の共同運用	-		維持		
		(令和5年)		(令和11年)		

カ 環境

① 循環型社会の構築

協定の内容	(取組の内容) ごみの適正排出やリサイクルを推進し、循環型社会の構築を図るとともに、再生可能エネルギーの導入促進に取り組む。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、ごみの適正排出等について、住民への意識啓発を行うとともに、再生可能エネルギーの導入促進を図るほか、一般廃棄物の広域処理を推進する。
	(乙の役割・厚真町・安平町) 甲と連携し、ごみの適正排出等について、住民への意識啓発を行うとともに、再生可能エネルギーの導入促進を図るほか、一般廃棄物の広域処理を推進する。 (乙の役割・白老町・むかわ町) 甲と連携し、ごみの適正排出等について、住民への意識啓発を行うとともに、再生可能エネルギーの導入促進を図る。

事業名	循環型社会の構築					関係市町
事業概要	一般廃棄物の広域分担処理等の推進により、廃棄物の安定的かつ効率的な処理を維持・確保する。 圏域内における太陽光などの再生可能エネルギーや省エネルギー機器の導入を促進する。					全市町
効果	廃棄物処理施設を広域化することにより、経済性の向上と効率的な維持管理が可能となる。 地域資源を活用した再生可能なエネルギーの導入や、省エネ化を進めることにより、圏域における温室効果ガスの削減が図られる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	1,744,213	1,746,045	1,750,909	1,650,909	1,583,747	8,475,823
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	(一般廃棄物広域処理部分) 苫小牧市：一般廃棄物の処理にかかる施設の運営経費を負担する。 厚真町・安平町：行政事務組合が処理費用として負担する。 (その他) 各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)	
	家庭ごみの排出量		41,211 t (令和5年)		38,537 t (令和11年)	

② 下水汚泥・し尿処理の広域化・共同化

協定の内容	(取組の内容) 下水汚泥・し尿処理の効率化を図るため、圏域内で排出される下水汚泥・し尿処理の共同化に取り組む。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、受入施設及び処理に必要な下水道施設の整備・運営における中心的な役割を担う。
	(乙の役割・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、受入施設及び処理に必要な下水道施設の整備・運営を推進する。

事業名	下水汚泥・し尿処理の広域化・共同化					関係市町
事業概要	効率的な事業執行や安定した処理を実施するために、下水汚泥・し尿処理の広域化・共同化に取り組む。					厚真町・安平町・むかわ町
効果	下水汚泥・し尿を共同処理することで、各市町における施設整備費の抑制や、管理運営の効率化が図られる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000
補助事業等の名称等	社会資本整備総合交付金					
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	圏域内会議開催回数	2回/年 (令和5年)		10回(累計) (令和11年)		

## II 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

### ア 地域公共交通

#### ① 地域公共交通の維持確保と利用促進

協定の 内容	(取組の内容) 圏域内住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について調査・検証するとともに、各種輸送機関との相互連携により、地域公共交通の確保に取り組む。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、圏域内の公共交通手段の維持・利用促進を図るとともに、効率的で利便性の高い公共交通システムの構築に向けて、中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、圏域内公共交通手段の維持・確保等に取り組む。

事業名	生活バス路線の維持・確保					関係市町
事業概要	乗合バス事業者等への支援を通じ、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持・確保を図るとともに、多様な交通手段の検討を行う。					全市町
効果	バス路線の維持・確保により、中心市である本市の医療機関や、商業施設といった都市機能を広域的に利用することができる。 圏域住民の移動手段の確保が図られる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	357,857	330,213	330,213	330,213	330,213	1,678,709
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)	
	地域間幹線系統数 (自治体間運行バス)		5系統 (令和5年)		5系統 (令和11年)	

イ 交通ネットワークの整備促進

① 圏域内における交通ネットワークの形成

協定の内容	(取組の内容) 圏域内における効率的な交通ネットワーク形成に向け、交通インフラ整備促進のための各種事業に取り組む。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、圏域市町を結ぶ国道・道道などの幹線道路網の整備促進に向けて、中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、圏域の効率的な交通ネットワークの形成に向けて取り組む。

事業名	期成会活動の促進					関係市町
事業概要	圏域内における基幹道路等、交通インフラ整備促進のための期成会活動を促進する。					全市町
効果	期成会活動の活発化により、圏域内の交通インフラ等の整備促進に繋がる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	1,077	1,077	1,077	1,077	1,077	5,385
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)	
	国への合同要望回数		3回/年 (令和5年)		3回/年 (令和11年)	

ウ 生産者と消費者との連携による地産地消

① 地産地消の拡大

協定の 内容	(取組の内容) 圏域内の地場産品等の消費を拡大するため、相互に連携し、地産地消を推進する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域内の地場産品等の情報発信を行うなど、地産地消の拡大に向けて取り組む。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域内の地場産品等の情報発信を行うなど、地産地消の拡大に向けて取り組む。

事業名	地産地消の推進					関係市町
事業概要	圏域の地産地消に関するイベントや生産者の情報を消費者に提供するとともに、連携してイベントなどを実施する。					全市町
効果	消費者と生産者の交流促進や食の安全・安心、消費拡大につながり、地産地消の推進が図られる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	3,696	3,696	3,696	3,696	3,696	18,480
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)	
	イベント等の売上金額		743万円 (令和5年)		860万円 (令和11年)	

エ 移住・交流

① 移住・交流促進

協定の 内容	(取組の内容) 圏域の移住関連情報を発信し、移住・交流を促進する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、ホームページ等を活用した圏域の地域資源をはじめとする魅力や移住・交流関連情報を発信する。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、圏域の地域資源をはじめとする魅力や移住・交流関連情報を発信する。

事業名	移住関連情報の一体的な発信					関係市町
事業概要	地域の様々な魅力をはじめ、暮らしや住まいに関する情報やイベント情報などの移住・交流関連情報を発信する。					全市町
効果	交流人口の拡大と圏域内への定住促進が期待される。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	130,074	76,220	76,220	76,220	76,220	434,954
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	情報発信回数	25回 (令和5年)		30回 (令和11年)		

オ その他の結びつきやネットワークの強化に係る連携

① 広報連携による情報提供

協定の内容	(取組の内容) 圏域内の情報を共有し、相互に発信するほか、行政区の枠組みを越えた広域連携による情報発信を行う。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、圏域内の情報を共有・発信するほか、ホームページ等を活用したイベント情報の共有を図る。また、広域連携によるプロモーション等の情報発信を推進するにあたり、中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、圏域内の情報を共有・発信するほか、ホームページ等を活用したイベント情報の共有を図る。また、広域連携によるプロモーション等の情報発信を推進する。

事業名	広報連携による情報共有や情報発信					関係市町
事業概要	圏域内の情報の共有化を図るとともに、圏域外の住民に圏域の魅力を積極的に発信する。					全市町
効果	情報の到達範囲を広げるとともに、地域の一体感を醸成し、広報効果を高める。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	190	190	190	190	190	950
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)	
	情報発信回数		30回 (令和5年)		35回 (令和11年)	

② 地域情報化の推進

協定の 内容	(取組の内容) 圏域内における、各自治体の情報化を推進する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域内における自治体クラウド導入及び管理のため中心的な役割を担う。
	(乙の役割・厚真町) 甲や関係機関と連携し、圏域内における自治体クラウド導入及び管理のため各種事業に取り組む。

事業名	自治体クラウドの導入及び管理					関係市町
事業概要	圏域内における自治体クラウドをガバメントクラウド移行まで継続し、適正な管理を実施する。					厚真町
効果	圏域内の費用軽減や情報セキュリティの厳重化、災害等緊急時の業務継続性が確保される。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	48,315	0	0	0	0	48,315
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)	
	共同する業務システム数		33 (令和5年)		- (令和11年)	

### Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### ア 宣言中心市等における人材育成

##### ① 職員の合同研修等の実施

協定の内容	(取組の内容) 圏域内市町職員の資質向上や人的ネットワーク及び政策課題への対応力を高めるため、合同研修会の開催等により職員の能力向上や職員間の交流に繋げる。
	(甲の役割・苫小牧市) 甲が実施する職員研修に関する情報を乙に提供し、乙の職員の参加機会を設ける。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲が実施する職員研修に職員を派遣するとともに、必要な協力を行う。

事業名	職員研修に係る情報共有及び合同研修の実施					関係市町
事業概要	圏域全体で職員研修に係る情報を共有するとともに、圏域市町職員の資質向上を図るための合同研修を実施する。					全市町
効果	合同で研修を行うことにより、圏域の職員間交流が促進され、効果的に職員の能力と資質の向上が図られる。					
事業費 (千円)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	合計
	25,880	25,877	25,877	25,877	25,877	129,388
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年度)	
	参加人数		124人/年 (令和5年)		200人/年 (令和11年)	

資料編 2 個別事業費一覧

(千円)

地域医療情報連携ネットワーク事業

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
地域医療情報連携ネットワーク事業	苫小牧市	5,000	200,000	5,000	5,000	5,000	220,000
合計		5,000	200,000	5,000	5,000	5,000	220,000

初期救急医療・広域医療体制の充実

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
二次救急医療運営費補助金	苫小牧市	32,891	32,891	32,891	32,891	32,891	164,455
小児救急医療支援事業	苫小牧市	7,531	7,531	7,531	7,531	7,531	37,655
夜間・急病センターの管理運営に要する経費	苫小牧市	213,231	213,231	213,231	213,231	213,231	1,066,155
二次救急医療運営費補助金	白老町	2,591	2,591	2,591	2,591	2,591	12,955
小児救急医療支援事業	白老町	117	117	117	117	117	585
北海道消防防災ヘリコプター運航連絡協議会負担金	白老町	356	356	356	356	356	1,780
二次救急医療対策事業運営費負担金	厚真町	708	708	708	708	708	3,540
救急医療啓発普及事業	厚真町	1,071	1,071	1,071	1,071	1,071	5,355
小児救急医療支援事業	厚真町	60	60	60	60	60	300
消防防災ヘリ負担金	厚真町	170	170	170	170	170	850
地域医療医師確保支援補助金	厚真町	1,125	1,125	1,125	1,125	1,125	5,625
広域救急（二次救急）医療対策事業	安平町	1,173	1,173	1,173	1,173	1,173	5,865
小児救急医療支援事業	安平町	80	80	80	80	80	400
一次救急医療運営事業	安平町	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	8,030
消防防災ヘリ負担金	安平町	202	202	202	202	202	1,010
二次救急医療等対策事業運営費負担金	むかわ町	1,223	1,223	1,223	1,223	1,223	6,115
救急医療啓発普及経費	むかわ町	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606	8,030
小児救急医療等対策事業運営費負担金	むかわ町	75	75	75	75	75	375
消防防災ヘリ負担金	むかわ町	229	229	229	229	229	1,145
合計		266,045	266,045	266,045	266,045	266,045	1,330,225

### SOSネットワーク事業

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
苫小牧市認知症高齢者等の見守りSOSネットワーク事業	苫小牧市	411,000	411,000	411,000	411,000	411,000	2,055,000
安平町SOSネットワーク事業	安平町	93	93	93	93	93	465
合計		411,093	411,093	411,093	411,093	411,093	2,055,465

### 障がい者等の地域生活支援拠点事業

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
地域生活支援拠点事業	苫小牧市	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	40,000
地域生活支援拠点負担金	白老町	798	798	798	798	798	3,990
東胆振圏域地域生活支援拠点事業	厚真町	312	312	312	312	312	1,560
東胆振圏域障害者地域生活支援拠点設置協議会負担金	安平町	448	448	448	448	448	2,240
東胆振1市4町地域生活支援拠点整備負担金	むかわ町	448	448	448	448	448	2,240
合計		10,006	10,006	10,006	10,006	10,006	50,030

### 在宅医療・介護連携推進事業

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
在宅医療・介護連携事業費	苫小牧市	33,798	33,798	33,798	33,798	33,798	168,990
在宅老人福祉事業経費	白老町	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	18,250
在宅医療・介護連携推進事業	厚真町	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	5,500
在宅医療・介護連携推進事業	安平町	635	635	635	635	635	3,175
在宅医療・介護連携推進事業	むかわ町	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	9,000
合計		40,983	40,983	40,983	40,983	40,983	204,915

### 成年後見制度の利用支援体制整備事業

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
成年後見制度の利用支援体制整備事業	苫小牧市	23,999	23,999	23,999	23,999	23,999	119,995
成年後見制度利用支援事業	厚真町	283	283	283	283	283	1,415
成年後見制度の利用支援体制整備事業	安平町	3,165	3,165	3,165	3,165	3,165	15,825
成年後見制度の利用支援体制整備事業	むかわ町	4,354	4,354	4,354	4,354	4,354	21,770
合計		31,801	31,801	31,801	31,801	31,801	159,005

## 生涯学習機会の充実

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
科学学習活動経費	苫小牧市	4,386	4,386	4,386	4,386	4,386	21,930
美術博物館企画展示事業費	苫小牧市	3,522	3,522	3,522	3,522	3,522	17,610
美術博物館特別展事業費	苫小牧市	6,313	6,313	6,313	6,313	6,313	31,565
文化芸術振興計画事業	苫小牧市	12,316	17,616	17,616	17,616	17,616	82,780
アイヌ文化を学ぶふるさと学習事業	白老町	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150	5,750
資料館特別展、企画展開催事業	白老町	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	5,500
民族共生象徴空間活性化事業	白老町	17,668	17,668	17,668	17,668	17,668	88,340
イオル再生事業	白老町	18,006	18,006	18,006	18,006	18,006	90,030
アイヌ文化保存・伝承・発展活動推進事業	白老町	25,932	25,932	25,932	25,932	25,932	129,660
文化財保護活動	厚真町	3,329	1,167	1,213	1,951	380	8,040
鉄道資料館管理経費	安平町	2,106	2,106	2,106	2,106	2,106	10,530
博物館等管理運営事業	むかわ町	137,232	137,232	137,232	137,232	137,232	686,160
合計		233,060	236,198	236,244	236,982	235,411	1,177,895

## 図書館（室）の相互連携の強化

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
図書館情報システム事業	苫小牧市	11,087	11,227	11,087	11,087	11,087	55,575
図書館システム保守経費	白老町	308	308	308	308	308	1,540
図書管理システム運用事業	厚真町	1,161	1,161	1,161	1,161	1,161	5,805
図書システム運用事業	安平町	722	722	722	722	722	3,610
図書館システム管理運営経費	むかわ町	790	790	790	790	790	3,950
合計		14,068	14,208	14,068	14,068	14,068	70,480

### 東胆振地域ブランド創造協議会

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	苫小牧市	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	8,275
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	白老町	157	157	157	157	157	785
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	厚真町	43	43	43	43	43	215
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	安平町	71	71	71	71	71	355
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	むかわ町	74	74	74	74	74	370
合計		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000

### 鳥獣被害防止対策事業

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
アライグマ捕獲事業	苫小牧市	6,875	6,875	6,875	6,875	6,875	34,375
苫小牧市鳥獣被害防止対策協議会補助事業	苫小牧市	6,006	6,006	6,006	6,006	6,006	30,030
有害昆虫・鳥獣駆除対策事業	白老町	2,537	2,537	2,537	2,537	2,537	12,685
鳥獣被害防止総合対策事業	白老町	790	790	790	790	790	3,950
エゾシカ被害防止対策事業	厚真町	10,091	10,091	10,091	10,091	10,091	50,455
野生鳥獣対策事業	厚真町	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	8,000
鳥獣被害防止総合対策事業経費	安平町	4,387	4,387	4,387	4,387	4,387	21,935
鳥獣被害防止対策協議会補助	むかわ町	2,120	2,120	2,120	2,120	2,120	10,600
鳥獣対策事業	むかわ町	35,400	35,520	35,460	35,760	35,880	178,020
合計		69,806	69,926	69,866	70,166	70,286	350,050

## 防災体制の充実

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
防災備蓄品整備事業	苫小牧市	6,210	6,210	6,210	6,210	6,210	31,050
樽前山火山防災会議協議会負担金	苫小牧市	24	24	24	24	24	120
白老町防災対策推進事業	白老町	2,133	2,133	2,133	2,133	2,133	10,665
樽前山火山防災会議協議会負担金	白老町	24	24	24	24	24	120
防災訓練事業	白老町	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	6,500
樽前山火山防災協議会負担金	厚真町	24	24	24	24	24	120
樽前山火山防災会議協議会負担金	安平町	24	24	24	24	24	120
防災体制整備事業	安平町	4535	1971	1378	1400	1400	10,684
自主防災活動推進事業	むかわ町	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
防災体制推進事業	むかわ町	5,356	5,356	5,356	5,356	5,356	26,780
樽前山火山防災会議協議会負担金	むかわ町	24	24	24	24	24	120
合計		22,654	20,090	19,497	19,519	19,519	101,279

## 東胆振消防指令業務共同運用事業

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
東胆振消防指令業務共同運用事業	苫小牧市	945,470	-	-	-	-	945,470
東胆振消防指令業務共同運用負担金	白老町	224,190	-	-	-	-	224,190
東胆振消防指令業務共同運用による共同指令センターの整備	厚真町	10	-	-	-	-	10
東胆振消防指令業務共同運用事業	安平町	13	-	-	-	-	13
東胆振消防指令業務共同運用事業	むかわ町	22	-	-	-	-	22
合計		1,169,705	-	-	-	-	1,169,705

## 循環型社会の構築

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
沼ノ端クリーンセンター管理運営経費	苫小牧市	495,166	495,166	495,166	495,166	495,166	2,475,830
沼ノ端クリーンセンター整備事業費	苫小牧市	204,514	204,514	204,514	204,514	204,514	1,022,570
資源物中間処理事業	苫小牧市	228,278	228,278	228,278	228,278	228,278	1,141,390
埋立処分場管理運営経費	苫小牧市	29,205	29,205	29,205	29,205	29,205	146,025
資源リサイクル運動推進事業費	苫小牧市	231,374	231,374	231,374	231,374	231,374	1,156,870
清掃統計処理システム事業費	苫小牧市	916	916	916	916	916	4,580
清掃施設ダイオキシン類測定分析業務経費	苫小牧市	3,761	3,761	3,761	3,761	3,761	18,805
合併処理浄化槽設置整備事業費	苫小牧市	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500
苫小牧市ゼロカーボンハウス促進補助金	苫小牧市	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	350,000
勇払限定ゼロカーボンハウス促進補助金	苫小牧市	60,466	62,298	67,162	67,162	0	257,088
浄化槽設置整備事業	白老町	3,624	3,624	3,624	3,624	3,624	18,120
安平・厚真行政事務組合負担金	厚真町	95,078	95,078	95,078	95,078	95,078	475,390
安全・安心省エネ住宅推進事業	厚真町	45,800	45,800	45,800	45,800	45,800	229,000
浄化市町村整備事業	厚真町	65,900	65,900	65,900	65,900	65,900	329,500
ごみの広域処理事業	安平町	158,901	158,901	158,901	158,901	158,901	794,505
合併処理浄化槽設置整備事業	安平町	4,528	4,528	4,528	4,528	4,528	22,640
合併処理浄化槽設置整備事業	むかわ町	5,202	5,202	5,202	5,202	5,202	26,010
合計		1,744,213	1,746,045	1,750,909	1,650,909	1,583,747	8,475,823

## 下水汚泥・し尿処理の広域化・共同化

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
下水処理場築造事業	苫小牧市	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000
合計		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000

## 生活バス路線の維持・確保

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
苫小牧市公共交通協議会負担金	苫小牧市	9,050	9,050	9,050	9,050	9,050	45,250
公共交通路線維持費補助事業	苫小牧市	45,519	45,519	45,519	45,519	45,519	227,595
樽前予約運行型バス運行事業	苫小牧市	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	44,500
市内路線バス定期代補助事業費	苫小牧市	11,000	0	0	0	0	11,000
生活交通確保維持推進事業	白老町	60,342	60,342	60,342	60,342	60,342	301,710
地域公共交通対策事業	厚真町	63,675	63,675	63,675	63,675	63,675	318,375
デマンド交通運行事業補助金	安平町	17,565	17,565	17,565	17,565	17,565	87,825
循環バス運行事業	安平町	25,414	25,414	25,414	25,414	25,414	127,070
JR室蘭線活性化連絡協議会負担金	安平町	250	250	250	250	250	1,250
町営バス等運行事業	むかわ町	92,398	92,398	92,398	92,398	92,398	461,990
むかわ町地域公共交通活性化協議会負担金	むかわ町	23,744	7,100	7,100	7,100	7,100	52,144
合計		357,857	330,213	330,213	330,213	330,213	1,678,709

## 期成会活動の促進

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
苫小牧地方総合開発期成会負担金	苫小牧市	563	563	563	563	563	2,815
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	苫小牧市	53	53	53	53	53	265
苫小牧地方総合開発期成会負担金	白老町	103	103	103	103	103	515
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	白老町	12	12	12	12	12	60
苫小牧地方総合開発期成会負担金	厚真町	56	56	56	56	56	280
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	厚真町	53	53	53	53	53	265
苫小牧地方総合開発期成会負担金	安平町	78	78	78	78	78	390
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	安平町	12	12	12	12	12	60
苫小牧地方総合開発期成会負担金	むかわ町	94	94	94	94	94	470
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	むかわ町	53	53	53	53	53	265
合計		1,077	1,077	1,077	1,077	1,077	5,385

## 地産地消の拡大

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
地域資源活性化推進事業	苫小牧市	900	900	900	900	900	4,500
東胆振物産まつり補助	苫小牧市	680	680	680	680	680	3,400
東胆振物産まつり補助	白老町	80	80	80	80	80	400
東胆振物産まつり負担金	厚真町	80	80	80	80	80	400
東胆振物産まつり負担金	安平町	80	80	80	80	80	400
特産物振興対策事業	むかわ町	1,876	1,876	1,876	1,876	1,876	9,380
合計		3,696	3,696	3,696	3,696	3,696	18,480

## 移住関連情報の一体的な発信

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
移住・定住・関係人口促進事業	苫小牧市	32,309	32,309	32,309	32,309	32,309	161,545
移住・定住促進事業	白老町	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	17,500
移住定住促進賃貸住宅家賃支援事業	白老町	1,944	1,944	1,944	1,944	1,944	9,720
Uターン新規就業者移住支援事業	白老町	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	8,000
情報発信事業	厚真町	8,825	8,825	8,825	8,825	8,825	44,125
関係人口創出事業	厚真町	24,500	24,500	24,500	24,500	24,500	122,500
定住促進事業	安平町	50	50	50	50	50	250
定住促進事業（移住促進PR事業）	安平町	1,402	948	948	948	948	5,194
移住定住促進事業	むかわ町	544	544	544	544	544	2,720
移住定住促進事業（助成事業）	むかわ町	55,400	2,000	2,000	2,000	2,000	63,400
合計		130,074	76,220	76,220	76,220	76,220	434,954

## 広報連携による情報共有や情報発信

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
北海道新幹線×nittan地域戦略会議活動事業費	苫小牧市	150	150	150	150	150	750
北海道新幹線×nittan地域戦略会議活動事業費	白老町	10	10	10	10	10	50
北海道新幹線×nittan地域戦略会議活動事業費	厚真町	10	10	10	10	10	50
北海道新幹線×nittan地域戦略会議活動事業費	安平町	10	10	10	10	10	50
北海道新幹線×nittan地域戦略会議活動事業費	むかわ町	10	10	10	10	10	50
合計		190	190	190	190	190	950

### 自治体クラウドの導入及び管理

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
総合行政システム事業費	苫小牧市	39,501	0	0	0	0	39,501
総合行政システム管理事業費	厚真町	8,814	0	0	0	0	8,814
合計		48,315	0	0	0	0	48,315

### 職員研修に係る情報共有及び合同研修の実施

事業名	事業主体	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	総事業費
職員研修経費	苫小牧市	15,029	15,029	15,029	15,029	15,029	75,145
職員研修経費	白老町	1,949	1,949	1,949	1,949	1,949	9,745
職員研修経費	厚真町	3,896	3,893	3,893	3,893	3,893	19,468
職員研修経費	安平町	2,295	2,295	2,295	2,295	2,295	11,475
職員研修経費	むかわ町	2,711	2,711	2,711	2,711	2,711	13,555
合計		25,880	25,877	25,877	25,877	25,877	129,388

資料編 3 定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員名簿

令和6年11月1日現在

	関連分野	氏名	所属等	市町名
1	学識委員	長澤 智明	苫小牧工業高等専門学校創造工学科	苫小牧
2	医療	笠原 健太郎	(一社) 苫小牧市医師会	苫小牧
3	福祉	塚原 光博	白老町民生委員児童委員協議会	白老
4	福祉	三上 裕紀子	NPO法人 宅老所日和	むかわ
5	教育	小坂 幸司	(株) 小坂農園	むかわ
6	産業振興	野宮 淳史	白老商工会	白老
7	防災	原 祐二	厚真町観光協会	厚真
8	環境	菊地 辰徳	株式会社haku haku hostel+café bar	白老
9	地域公共交通・交通ネットワーク	高本 克彦	室蘭地区バス協会	苫小牧
10	地域公共交通・交通ネットワーク	吉田 章	あつまバス(株)	厚真
11	生産者と消費者との連携による地産地消	横澤 和子	(有)早来アグリファーム	安平
12	生産者と消費者との連携による地産地消	荒舘 康治	(一社) むかわ町観光協会	むかわ
13	移住交流	西嶋 基	(一社) あびら観光協会	安平
14	その他の結びつきやネットワークの強化に係る連携	遠藤 了介	(一社) 苫小牧青年会議所	苫小牧
15	公募委員	村田 貴子	メナードフェイシャルサロン	苫小牧
16	公募委員	村田 奈採	アトリエなちこ まいぶれ苫小牧	苫小牧
17	公募委員	内山 清	デザイン・コミュニケーションズ株式会社	むかわ

(敬称略)

(設置)

第1条 東胆振における定住自立圏の形成に関する協定（以下「協定」という。）により形成された圏域全体を対象として、圏域の将来像や協定に基づき推進する具体的な取組内容等を記載する定住自立圏共生ビジョン（以下「ビジョン」という。）の策定に関して、関係者等の意見を反映させるため、定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 懇談会は、ビジョンの策定又は変更について審議する。

(組織)

第3条 懇談会は20人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 公募に応じた者
- (2) 協定に関連する分野の関係者
- (3) 学識経験者
- (4) その他市長が適当と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日から翌年度末日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(座長及び副座長)

第5条 懇談会に、座長及び副座長各1人を置き、委員の互選により定める。

- 2 座長は、会務を総理し、懇談会を代表する。
- 3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会の会議は、座長が招集する。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

(関係者の出席等)

第7条 懇談会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対し、出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第8条 懇談会の庶務は、苫小牧市総合政策部政策推進室政策推進課において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年7月16日から施行する。

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。



---

---

東胆振定住自立圏共生ビジョン

令和7年4月1日策定

苫小牧市総合政策部政策推進室政策推進課  
〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号

T E L 0144-32-6039

F A X 0144-34-7110

---

---